

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
地理総合	2	1年全類	必修
授業担当者	教科書名		副教材等
****	高等学校 新地理総合(帝国書院) 詳解現代地図 最新版(二宮書店)		高等学校 新地理総合ノート

<p>科目の到達目標</p> <p>・様々な地図や統計から情報を読み取ることができる。</p> <p>・世界の生活文化の多様性や地域的・地球的課題について理解を深める。 (知識及び技能)</p> <p>・地理に関わる事象の意味や意義、特色、相互の関連を多面的・多角的に考察することができる。</p> <p>・国家や地域の歴史的、空間的つながりを考慮しながら、地域的・地球的課題の解決に向けて構想する力や、構想したことを説明したり、議論したりする力を養う。 (思考力、判断力、表現力等)</p> <p>・世界の多様な生活文化を尊重する態度、よりよい社会の実現をめざして主体的に課題の解決に取り組む態度を身につける。 (学びに向かう力、人間性等)</p>

<p>評価の観点と方法について</p> <p>年3回の定期考査の点数を基準とし、ノートやワークシート、課題の内容、提出状況、自己評価の内容をもとに総合的に評価する。</p> <p>※中間考査は実施しません。</p>

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
一学期	4	中学時の復習	これからの地理学習の基盤を確認する	・基本的な世界の地形、国名について復習をする	様々な地図の役割を説明できる 統計地図から必要な情報を読み取ることができる
	5	第1部 地図でとらえる現代世界 第1章 地図と地理情報システム	様々な地図の役割を理解し、適切な情報を読み取る技能を身につける	・地球上の位置と時差、地図の役割と種類について、図をみながら理解する ・統計地図や GIS については情報端末を活用する ・ハザードマップを通して防災について考える	
	6	第2章 結び付きを深める 現代世界	国家の役割、国家間の様々な結びつきを理解し、グローバル化する現代世界への認識を深める	・国家と領域について、基礎的な知識を得る ・様々な分野で結び付く世界を地図や統計から読み取る	国家間の結び付きの特徴を位置や分布に注目して説明することができる
	7	第2部 国際理解と国際協力 第1章 生活文化の多様性と国際理解	世界には様々な地形が存在し、そこに住む人々の多様な生活文化に影響を与えていることを理解する	・世界の様々な地形について、その成因を理解し、地形と人々の生活との関りについて考察する ・地震や火山災害を通して防災について考える	地形の成因を説明することができる 地形と生活文化との関りについて説明することができる

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
二 学 期	9	第2部 国際理解と国際協力 第1章 生活文化の多様性と 国際理解	世界には様々な気候が存在し、そこに住む人々の多様な生活文化に影響を与えていることを理解する 言語や宗教について、基礎的な知識を身につけるのみならず、そこに住む人々の多様な生活文化に影響を与えていることを理解する また、多様な文化を尊重する態度を身につける 現在の多様な生活文化が、歴史的背景も成因となっていることを理解する 自然環境と産業、産業の発達と人々の生活文化についてそのつながりを理解する	・世界の気候について、その成因を理解し、気候と人々の生活との関りについて考察する ・様々な気象災害を通して防災について考える ・気候と人々の生活について、地域を一つ取り上げ、追究事例として深く考察する	気候の成因を説明することができる 気候と生活文化との関りについて説明することができる
	10			・世界の様々な言語・宗教について理解を深めるとともに、言語・宗教と人々の生活との関りについて考察する ・言語・宗教と人々の生活について、地域を一つ取り上げ、追究事例として深く考察する	言語・宗教について、その特徴や分布に着目して説明することができる 言語・宗教と生活文化との関りについて説明することができる
	11			・歴史的背景と人々の生活について、地域を一つ取り上げ、追究事例として深く考察する	現在の生活文化がどのような歴史的背景により形成されたか説明できる
	12			・世界の産業と人々の生活について、地域を一つ取り上げ、追究事例として深く考察する	自然環境と産業、産業の発達と生活文化との関りについて説明することができる
三 学 期	1	第2部 国際理解と国際協力 第2章 地球的課題と 国際協力	さまざまな地球的課題について多様な視点から考察し、持続可能な社会をつくるために必要とされる国際協力のあり方について自らの考えをもつ	・相互に関連する地球的課題とその解決に向けた動きについて知る ・地球環境問題の解決に向けて、国際協力のあり方を考察する ・資源・エネルギー問題の解決に向けて、国際協力のあり方を考察する ・人口問題の解決に向けて、国際協力のあり方を考察する ・食料問題の解決に向けて、国際協力のあり方を考察する ・都市・居住問題の解決に向けて、国際協力のあり方を考察する	さまざまな地球的課題の相互の関連について説明できる 地球的課題の解決に向けた国際協力のあり方について、自分自身の考えを述べることができる
	2				
	3				
<p>その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）</p> <p>・「地理探究」とのつながりを考慮して授業を行います。2年次あるいは3年次に「地理探究」を選択しようと考えている人は、1年次に履修する「地理総合」で地理的な見方や考え方の基礎をしっかりと身につけておく必要があります。</p>					

科目名	単位数	指導学年・類・型		必修・選択
歴史総合	2	1年全類		必修
授業担当者		教科書名	副教材等	
****		新歴史総合 (第一学習社)	教科書準拠ノート等	
科目の到達目標				
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することをめざす。				
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とそれの中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。		近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。		近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度や、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを身に付けている。
	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
学期	4 近代化と私たち ・18世紀のアジアの繁栄	・18世紀のアジアの経済と社会を理解させる。	・18世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に説明する。	授業中の関心・意欲・態度
	5 ・工業化の進展と国民国家の建設	・産業革命と世界市場の形成について理解させる。	・産業革命と交通・通信手段の革新、中国の開港と日本の開国などを基に、工業化と世界市場の形成を説明する。	ノート提出 中間考査
	6 ・結びつく世界と日本の開国	・市民革命や日本の明治維新など立憲体制・国家形成について理解させる。	・18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解する。	
	7 ・帝国主義とアジア諸国の変容	・列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。	・列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を説明する。	ノート提出 期末考査 夏季課題の説明

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
二 学 期	9	国際秩序の変化や大衆化と私たち ・第一次世界大戦と大衆社会	・国際関係の緊密化、アメリカ合衆国とソヴィエト連邦の台頭など国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について理解させる。	・植民地の独立、大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化、生活様式の変化などに関する資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付けられるよう工夫する。	授業中の関心・意欲・態度
	10	・経済危機と第二次世界大戦	・世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際協調体制の動揺を理解させる。	・経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを説明・解説する。	ノート提出 中間考査
	11	・第二次世界大戦後の世界と日本	・第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解させる。	・第二次世界大戦の推移とこの大戦が戦後の世界に与えた影響、大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢について解説する。	ノート提出 期末考査
三 学 期	1	グローバル化と私たち ・冷戦と脱植民地化・第三世界の台頭	・脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理などを基に、国際政治の変容を理解させる。	・西ヨーロッパや東南アジアの地域連携、計画経済とその波及、日本の高度経済成長などについて説明する。	授業中の関心・意欲・態度
	2	・世界秩序の変容と日本	・地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響、欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などをなどについて理解させる。	・地域紛争と冷戦の関係、冷戦が各国経済に及ぼした影響、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に説明・解説する。	ノート提出 学年末考査
	3				
その他（履修上の留意点・大学進学等のための学習など） <ul style="list-style-type: none"> ・大学受験にも対応できるよう、授業内容や時間配分等の配慮をします。 ・歴史は暗記が欠かせない科目ですが、語句の暗記のみにとどめるのではなく、歴史の流れに関連づけて理解するよう「考える」時間を与えるなど工夫します。 					